

平成19年12月議会定例会



今議会で可決された議案等の概要

(紙面の都合で内容は一部省略してあります)

平成19年度 一般会計補正予算

既定予算の総額に1億7078万円を追加し、歳入歳出予算の総額を41億4038万円としました。主な内容は、総務費：センター地区測量設計業務委託640万円、民生費：社会福祉協議会運営費補助金367万円、国保事業勘定繰出金117万円、介護保険特別会計繰出金111万円、老人医療費業務委託料184万円、衛生費：大火地区火葬場改修工事104万円、簡易水道事業繰出金△253万円、診療所特別会計繰出金△160万円、国保診療施設勘定繰出金359万円、農林水産費：農地・水・環境保全向上対策事業交付金△601万円、高齢者等肉用牛雌牛貸付基金元金繰出金287万円、農業集落排水事業特別会計繰出金△

既定予算の総額に1億7078万円を追加し、歳入歳出予算の総額を41億4038万円としました。主な内容は、総務費：センター地区測量設計業務委託640万円、民生費：社会福祉協議会運営費補助金367万円、国保事業勘定繰出金117万円、介護保険特別会計繰出金111万円、老人医療費業務委託料184万円、衛生費：大火地区火葬場改修工事104万円、簡易水道事業繰出金△253万円、診療所特別会計繰出金△160万円、国保診療施設勘定繰出金359万円、農林水産費：農地・水・環境保全向上対策事業交付金△601万円、高齢者等肉用牛雌牛貸付基金元金繰出金287万円、農業集落排水事業特別会計繰出金△

平成19年度 国民健康保険特別会計 補正予算

100万円、自然体験学習館塗装工事△177万円、商工費：旅行商品企画販売業務及び企画旅行業務委託料△90万円、土木費：土地購入費127万円、除雪用重機借上料244万円、道路改良舗装工事△463万円、単独住宅建設工事5907万円、単独住宅駐車場整備工事1296万円、教育費：いたてっ子未来基金元金積立95万円、公民館水道管改修工事113万円、災害復旧費：農地等災害復旧工事1億43万円、過年度災害（公共土木）復旧工事△260万円などです。これらを賄う財源として地方交付税、分担金及び負担金、県支出金、村債等を充当しています。

平成19年度 国民健康保険特別会計 補正予算

事業勘定の既定予算の総額に1329万円を追加し、歳入歳出予算の総額を9億843万円としました。主な内容は、電算業務委託料167万円、一般被保険者療養給付費699万円、国庫支出金返還金346万円などです。これらを賄う財源として療養給付費交付金繰越金を充当しています。

平成19年度 診療所特別会計 補正予算

既定予算の総額から160万円を減額し、歳入歳出予算の総額を9750万円としました。主な内容は、医科臨時職員の賃金△250万円、歯科医薬品衛生材料費60万円などです。これらの減額に伴う財源は一般

会計からの繰入金を減額するものです。

平成19年度 簡易水道事業特別会計 補正予算

既定予算の総額から236万円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億7415万円としました。主な内容は、施設の維持管理委託料△63万円、印刷製本等の需用費△87万円などです。これらの減額に伴う財源は一般会計からの繰入金を減額するものです。

平成19年度 農業集落排水事業 特別会計補正予算

既定予算の総額から86万円を減額し、歳入歳出予算の総額を7182万円としました。主な内容は、施設の維持管理業務委託料△110万円、汚泥移送手数料16万円などです。これらの減額に伴う財源は一般会計からの繰入金を減額するものです。

平成19年度 介護保険特別会計 補正予算

既定予算の総額に111万円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億6708万円としました。主な内容は、職員の人件費などです。これを賄う財源として一般会計繰入金を充当しています。

職員の自己啓発等 休業に関する条例

これは、大学等の修学や国際貢献活動を希望する常勤の職員に対し、職員としての身分を保有したまま、本人の申請に基づき、3年を上限に職務に従事しないことを認める休業制度です。地方公務員法改正に伴い8月から新たに導入された制度で、これに基づき制定するものです。

飯館村長の資産等の 公開に関する条例の 改正

郵政民営化法等の施行に

追加議案

平成19年度 一般会計補正予算

今回、光ファイバ通信基盤整備を実施したいので、同計画を追加するものです。

平成19年度 国民健康保険特別会計 補正予算

事業勘定の既定予算の総額に8万円を追加し、歳入

平成19年度 診療所特別会計 補正予算

既定予算の総額に14万円を追加し、歳入歳出予算の総額を9764万円としました。主な内容は、県人事委員会勧告に伴う一般職員の給与で、これを賄う財源として繰越金を充当しています。

職員の給与に関する 条例の改正

これらは、県人事委員会勧告に基づき議会議員及び村長・副村長・教育長の期末手当並びに一般職員の給与等を改正するものです。

飯館村保育所設置条例 の廃止

来年4月1日より「やまゆり保育所」を「いたて福祉会」へ民営化するため、条例を廃止するものです。

村長村政報告

紙面の都合で内容は一部省略してあります

全国女性消防操法大会

10月25日に神奈川県横浜市で開催されました。今大会には全国都道府県の代表47チームが参加し、福島県代表として初出場した本村女性消防隊は見事7位入賞を果たすとともに、優良賞も受賞するなど多くの村民に感動を与えていただきました。

春先から積み重ねてきた厳しい訓練が、本大会で実を結んだものであり、選手たちはもとより、指導に当たってこられた消防飯館分署や村消防団幹部など、多くの関係者に感謝と御礼を申し上げます。

秋まつり

10月27日・28日の2日間、村公民館やJAそうま飯館総合支店、相農飯館分校などを会場に開催されました。

村公民館では、総合文化展や商工まつり、JAそうま飯館総合支店では収穫感謝祭やJAまつり、相農飯館分校では紅葉祭や幼稚園・小学校の文化展など、それぞれ多彩なイベントが繰り広げられ、各会場とも多くの家族連れなどで賑わっていました。

日本再発見塾

11月3日・4日の2日間、村第5次総合振興計画の基本理念である「まदैライフ」の「まदै」をテーマに開催されました。

塾の主な目的は、古くから伝わる日本文化や、地域に埋もれている宝物の掘り起こしなどを通じて地域の良さを再発見し、全国に発信することによって地域の元気を取り戻そうとするものであり、3年前から開催されています。塾には、全国各地から約

米の作況指数

平成19年の米の作況指数は、県平均・浜通り共に

11月19日に保健室の開所式を行いました。この「まदैいな保健室」は、福島県地域の子育て応援交付金事業を活用して、生後6ヵ月以上から小学校就学前までの乳幼児を軽度の病気、あるいは家庭の事情で子育てができない場合など、一時的に保育する事業です。

まदैいな子育て保健室

（歳以上）医療制度」について説明し理解を求めめるために開きました。毎回多くの村民に出席していただき、制度改正の啓蒙に努めました。

なお、この施設を利用できるのは、保育所や幼稚園の入園児をはじめ、保育所や幼稚園に入園していない子どもも利用することができます。

野菜の集荷状況

きゅうりは、重量・販売

「99」で平年作となっており、JAそうまの村産米集荷実績ですが、11月30日現在で、うるち・もち合わせて62871袋であり、予約数量71094袋に対し、88・4%の集荷実績となっています。

これは、昨年と比較すると、うるち米が112%と上回った半面、もち米は83・6%と下回っています。また、米の販売総額は米価の低迷により約2億6500万円、前年度より2500万円ほど減額となりました。

花卉の出荷状況

トルコギキョウは数量・販売額共に順調に伸びており、前年に比べ8・2%増の1億1000万円になっています。

野菜全体としては、2億3500万円の販売額で、昨年に比べ約2200万円の減少となりました。

企業立地支援

菊池製作所の第2工場増築工事が9月19日に着工され、来年1月の完成に向けて順調に工事が行われています。

健康づくり事業

11月1日より12月17日までの日程で開催しました。この説明会は、全行政区を対象に「食と健康づくり」について、さらには平成20年度からの「総合検診（成人病）」と「後期高齢者（75

健康づくり事業 地区説明会

11月1日より12月17日までの日程で開催しました。この説明会は、全行政区を対象に「食と健康づくり」について、さらには平成20年度からの「総合検診（成人病）」と「後期高齢者（75

いいたて次世代育成村民債

飯館中学校バス購入を目的とした「いいたて次世代育成村民債」の発行については、村民の温かいご協力により、予定していた900万円全額を発行することができました。11月30日に購入者へ債権を発行したところでした。

戦没者追悼式

10月31日に村柔剣道場で開催しました。この追悼式は、村出身の戦没者278人の御霊を供養するため、3年毎に村が主催しています。当日は、遺族会や英霊にこたえる会の会員、村関係者など120人が出席し、黙祷や献花をして戦没者の御霊を供養しました。また、追悼式後には村遺

健康づくり事業

11月1日より12月17日までの日程で開催しました。この説明会は、全行政区を対象に「食と健康づくり」について、さらには平成20年度からの「総合検診（成人病）」と「後期高齢者（75

健康づくり事業 地区説明会

11月1日より12月17日までの日程で開催しました。この説明会は、全行政区を対象に「食と健康づくり」について、さらには平成20年度からの「総合検診（成人病）」と「後期高齢者（75

もりの駅 まごころ

11月1日に新しい産直施設もりの駅「まごころ」がオープンしました。

全国和牛共進会

鳥取県で開催された「第9回全国和牛能力共進会」の第8区の枝肉部門に、福島県代表牛3頭のうち村振興公社の肥育牛1頭を出品したところ、1等賞に当たる「本会会長賞」を受賞しました。

企業立地支援

菊池製作所の第2工場増築工事が9月19日に着工され、来年1月の完成に向けて順調に工事が行われています。

健康フェスタ

10月26日・27日の2日間、「いちばん館」で開催しました。

このうち26日は、本県出身で東京農業大学の小泉武夫教授による「命の源である「食」と子育て」と題した講演会を開催しました。

健康づくり事業 地区説明会

11月1日より12月17日までの日程で開催しました。この説明会は、全行政区を対象に「食と健康づくり」について、さらには平成20年度からの「総合検診（成人病）」と「後期高齢者（75

市、沖縄県なども連携しながら、展示産品を充実させ、消費者に満足されるような施設を目指し、工夫していきたいと考えています。

農地・水・環境 保全向上対策

4月に全地区と協定を締結以来、それぞれ活動を展開してきましたが、対象農用地の区域の変更及び面積の精査により、10月19日に全地域保全会と変更協定を締結しました。

変更の内容は、当初計画していた面積20万3000㎡を16万1322㎡に、交付金も当初の7796万円から6008万2400円となりました。

一方、営農活動支援については、当初の8地区に変わりはありますが、取り組み面積が当初計画の2万9800㎡から1万9724㎡に減少し、交付金も1828万円から1223万4400円に減額となりました。

台風の被害状況

台風4号については、国庫補助対象が農地3カ所、施設7カ所の計10カ所、村単補助対象が農地13カ所、施設14カ所の計27カ所でした。

台風9号については、国庫補助対象が農地10カ所、施設21カ所の計31カ所、村単補助対象が農地30カ所、施設35カ所の計65カ所でした。

なお、国庫補助該当分の41カ所については、11月21日までに全地区の査定を完了し、全地区が国庫補助該当となり、査定額は1億4214万6000円、査定率は96・86%でした。

また、村単補助対象の92カ所については、個人負担を伴うことから、現在受益者と協議しながら進めているところだ。

公共施設災害 復旧状況

国庫補助対象災害とし

て2カ所を申請し、いずれも採択になり、10月に発注しました。

除雪体制

除雪一次路線は、除雪機械のリースと建設業者等の保有する土木作業機械により、55路線104kmを実施します。

除雪二次路線は、昨年度に試行で計画した行政区委託を、今年度は10行政区で実施します。これは、行政区内で保有するトラクター等を利用していただき、地域内交通の円滑化を図るものです。

なお、二次路線の除雪は126路線103kmを計画していましたが、そのうちの37路線24km、全体の約23%を10行政区にお願いすることとなりました。

全国学力・学習 調査結果

今年4月に実施された平成19年度全国学力・学習調査の結果が示されました。

この調査は小学6年生と中学3年生を対象に、国語と算数・数学の2科目で行われ、本村の児童生徒は、正答率でいずれの科目も県平均・全国平均をかなり下回りました。

また、同時に行われた生活習慣の調査では、本村が力を入れている「早寝早起き」や「夢をもっているか」などの質問では、全国平均を上回る結果が出た一方、「家庭学習の時間」や「家族との会話」「友達との約束を守る」などの質問では、全国平均を下回りました。

今後は、この調査結果を踏まえ、関係機関と連携を取りながら事態の改善に向けて対応を進めていきます。

各発表会

10月から11月にかけて、各学校・幼稚園において、学習発表会や文化祭、おゆうぎ会が行われました。先生方の熱心な指導のもと、いずれの発表会も感動的な内容でした。

夢づくり 推進大会

11月12日、文部科学省の事業である生徒指導総合連携推進事業の一環として「いたてっ子夢づくり推進大会」を開催し、小学5年生から相模館分校生までの児童生徒と村民約500人が参加しました。

大会では、「夢」をテーマとした絵と作文コンクールの入選者の発表と表彰が行われ、応募総数602点の中から学年別5部門について、それぞれ最優秀賞5点、優秀賞10点、佳作15点の表彰を行い、最優秀賞5人に発表していただきました。

記念講演では、日本サッカー協会の指導者であるクロード・デュソー氏から「夢を実現するために」と題して講演をいただきました。

教育懇談会

教育委員が3人になったことから、いかに教育を推進していくかを課題とした教育懇談会を、11月27日に開催しました。教育委員や各小学校長、PTA関係者、一般村民など約60人が出席し、膝を交えて子どもたちの現状と課題等について話し合いを行いました。

市町村対抗 軟式野球大会

今年度新たに「第1回市町村対抗福島県軟式野球大会」が開催され、県内から39チームが出場しました。飯館村チームは1回戦が不戦勝で、2回戦は塙町と対戦し、4対1で見事初勝利を収めました。続く3回戦は、結果的に本大会の優勝チームであった強豪郡山市と対戦、惜しくも0対1で敗れました。

選手の皆さんには、村の代表として試合に臨んでいただき、チーム一丸となつ

台風の被害状況

台風4号については、国庫補助対象が農地3カ所、施設7カ所の計10カ所、村単補助対象が農地13カ所、施設14カ所の計27カ所でした。

台風9号については、国庫補助対象が農地10カ所、施設21カ所の計31カ所、村単補助対象が農地30カ所、施設35カ所の計65カ所でした。

なお、国庫補助該当分の41カ所については、11月21日までに全地区の査定を完了し、全地区が国庫補助該当となり、査定額は1億4214万6000円、査定率は96・86%でした。

また、村単補助対象の92カ所については、個人負担を伴うことから、現在受益者と協議しながら進めているところだ。

公共施設災害 復旧状況

国庫補助対象災害とし

総合文化展

10月27日から28日の2日間、秋まつりの一環である「総合文化展」を開催しました。今年の文化展には495人の村民の方に、昨年より48点多い800点の作品を出品していただきました。

また、開催に当たりましては、会場準備や後片付けなどに多くの方々ボランティアとして参加していただき、感謝を申し上げます。

ピンポン大会

今年度3回目の「思いやり・までいラリー・ピンポン大会」が、12月9日に飯館中学校体育館で行われました。

ふくしま駅伝

白河市から福島市までの96・2km、16区間を1本のタスキでつなぐ、「第19回ふくしま駅伝」が11月18日に開催され、本村はベテラン選手と新人選手によるチームで大会に臨みました。

選手諸君は個々の力を出しきり、総合の部で19位

ピンポン大会

今年度3回目の「思いやり・までいラリー・ピンポン大会」が、12月9日に飯館中学校体育館で行われました。

この競技は、「までいラリー」をいかに村内外の人に知ってもらうかを目的として実施しています。競技内容は、相手といかに長くラリーを続けられるかという村独自のルールで、村内外から100人の参加を得て行いました。

次世代塾

今年度の新規事業として、村民・職員の次世代塾生と議会議員が一体となり、今後の村づくりや人づくりの一助にすることを目的に、「いたて学：次世代塾先進地視察研修」を実施しました。

第1弾は、15人が10月16日から21日にかけて北海道倶知安町・ニセコ町を視察し、第2弾は、18人が11月9日から11日にかけて宮崎県綾町を視察しました。

来年1月には、視察研修に参加した議会議員と次世代塾生合同による報告会を計画しています。

このような三者一体となった研修は、今後の村づくりに大きな成果をもたらすと期待しているところで